

報道機関各位
お知らせ

宇治茶
伊藤久右衛門
京都

2019年01月10日

抹茶とほうじ茶で日本を味わう
京都・伊藤久右衛門 新作バレンタインチョコレート
「ショコラコレクション」販売開始

江戸後期創業、京都・宇治茶の老舗 伊藤久右衛門(所在地：京都府宇治市 代表取締役：北村 公司)は、2019年1月より「抹茶とほうじ茶で日本を味わう」新作バレンタインチョコレート『ショコラコレクション』を販売開始いたします。



■抹茶とほうじ茶で日本を味わう新作バレンタインチョコレート

京都のお茶屋 伊藤久右衛門だからこそ創ることのできるバレンタインチョコレートをお届けしたい。その思いから、『ショコラコレクション』は生まれました。伝統の技法「石臼挽き」による宇治抹茶と、京都では日常茶として馴染み深いほうじ茶。2種の宇治茶を存分に愉しめるチョコレートに仕上げました。抹茶は、すこしの光や熱で、色も香りも褪せてしまうほど繊細。しかし、ショコラティエの匠な技と、茶葉を使い分け、選びぬいた日本のクラフト酒をアクセントに加えることで、味と香りを設計し尽くしたチョコレートができあがりしました。



「ショコラコレクション-藤-」



「ショコラコレクション-藤-」



「ショコラコレクション-椿-」



「ショコラコレクション-梅-」

■日本の粹をパッケージに

黒扇のシンプルな見た目に反し、蓋を開けば、京を彩る絢爛豪華な屏風絵が現れます。目に焼き付いて離れない眩さは、素敵なサプライズになるはず。それぞれに描いた椿・梅・藤は、気品ある美しさを持った日本の花木。見た目は控えめに、隠れた内側は華やかに。日本の粹を忍ばせた扇箱です。目から舌から日本を味わう、京の美しきチョコレートを伊藤久右衛門よりお届けいたします。



「宇治抹茶ラングドシャ 虹色パッケージ」



「宇治抹茶生チョコレート L'ecrin (レ克蘭)」



「宇治ほうじ茶生チョコレート」



「宇治抹茶チョコのお酒」



「宇治抹茶チョコせんべい」

■ ジャパネスク ～抹茶とほうじ茶で日本を味わう 大人のバレンタインフェア 2019～

伊藤久右衛門のバレンタインフェア 2019 は、「ジャパネスク ～抹茶とほうじ茶で日本を味わう 大人のバレンタインフェア 2019～」と題し、様々な宇治抹茶&宇治ほうじ茶チョコレートを取り揃えました。当店人気 No. 1 の『宇治抹茶生チョコレート』だけでなく、年々人気が高まるほうじ茶を使用した『宇治ほうじ茶生チョコレート』、新作の『ショコラコレクション』『宇治抹茶ラングドシャ 虹色パッケージ』『宇治抹茶生チョコレート L'ecrin(レ克蘭)』や、2018 年にリニューアルした『いちご抹茶トリュフお茶苺さん』、一風変わった『宇治抹茶チョコのお酒』『宇治抹茶チョコせんべい 茶遊月』など。宇治抹茶と宇治ほうじ茶チョコレート尽くしのバレンタインフェアです。

■ ショコラコレクション概要

商品名 : ショコラコレクション
 発売日 : 2019 年 1 月より順次販売開始
 価格 : 「ショコラコレクション-椿- 4 個入」 1,200 円(税込)
 : 「ショコラコレクション-梅- 6 個入」 1,800 円(税込)
 : 「ショコラコレクション-藤- 9 個入」 送料込み 3,500 円(税込)
 ※オンラインショップでの販売価格となります。
 販売店 : オンラインショップ・宇治本店・JR 宇治駅前店・京都駅前店
 ※一部店舗では販売していません。商品名 : ショコラコレクション

バレンタインフェア 2019

特設サイト : <https://www.itohkyuemon.co.jp/site/valentine/index.html>

【本リリースに関する報道関係からのお問い合わせ先】

担当者： WEB 営業部メディア広報課 平元(ヒラモト)
TEL : 0774-28-3993(平日 10 時～18 時)
MAIL : web@itohkyuemon.co.jp

■会社概要

社名 : 株式会社伊藤久右衛門
所在地 : 〒611-0013 京都府宇治市菟道荒槇 19-3
代表者 : 代表取締役 北村 公司
創業 : 天保 3 年
事業内容 : 宇治茶・抹茶スイーツなどの製造販売
TEL : 0774-28-3993
URL : <https://www.itohkyuemon.co.jp/corporate/>

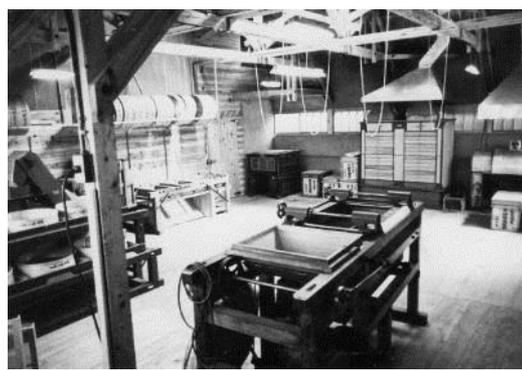
Twitter : <https://twitter.com/itohkyuemon>
Facebook : <https://www.facebook.com/itohkyuemon>
Instagram : <https://www.instagram.com/itohkyuemon/>

伊藤久右衛門のあゆみ

江戸後期・天保3年、初代伊藤常右衛門（いとうつねえもん）・瀧蔵が田原村 名村（現宇治田原南）にて茶業を携わったのがはじまりです。その後、二代目伊藤常右衛門・久三郎、三代目伊藤常右衛門・由松、四代目伊藤多吉と代々茶づくりを継承してまいりました。昭和27年、五代目伊藤久三が宇治田原から宇治の地へとうつり、宇治蓮華（現平等院表参道）で宇治茶販売の店舗を構えました。同年、会社設立にあたり、代々受け継いだ伊藤常右衛門の名を拝し、伊藤久三自身の名にある「久」の一文字をとって、社名を「株式会社伊藤久右衛門」といたしました。創業の地である宇治田原では、現在も伊藤家に代々受け継がれる茶園で茶づくりを続けております。



平等院店頭での初荷の写真



当時の茶工場